

(公財)鉄鋼環境基金 2016年度助成研究

終了報告書

(公財)鉄鋼環境基金
理事長殿

募集要綱の請書の規定により下記書類を添えて助成研究の終了報告をいたします。
記

1. 研究成果要旨
2. 研究成果概要書
3. 研究成果報告書

研究者	所属・役職	鉄鋼大学工学部金属工学科 准教授	
	(ふりがな)	くろがね	たろう
	氏名	鉄	太郎

1. 区分	<input checked="" type="radio"/> 一般研究 <input type="radio"/> 若手研究	2. 研究期間	<u> 2 </u> 年	
3. 研究テーマ	鉄鋼スラグの海洋利用に関する研究			
4. 研究費	2016年度研究費総額： <u> 3,000 </u> 千円（内助成金額： <u> 1,500 </u> 千円）			
5. 連絡先及び 連絡者	郵便番号	123-4567	住所	金属市鋼町 1-2-3
	T e l	098-222-3333	E-mail	kurogane@tekkou.ac.jp
	所属・役職	鉄鋼大学工学部金属工学科 准教授		
	氏 名	鉄 太郎		
6. 助成研究に関する学会等への発表・投稿について				
①既発表				
	表題	発表・投稿先学会等	公表年月	
1	製鋼スラグからの栄養素溶出について	A B C 学会講演大会	2016. 10	
2	鉄鋼スラグの底質浄化機構	E F G 協会主催のシンポジウム	2017. 12	
3				
4				
②今後の発表予定				
1	製鋼スラグの海洋利用における環境影響	H I J 学会論文誌	2018. 10	
2				
3				
4				
7. 特許出願等の理由により成果報告書の公表時期を遅らせることを希望する場合は、希望日を記入すること。記入のない場合は、2018年4月1日にホームページ上で公表します。				
公表希望日		2018年 6月 1日		
(最大で、2019年4月1日まで遅らせることが可能ですが、公表時期が、2018年6月2日以降の場合は、2018年度の助成研究成果表彰の応募資格がなくなりますのでご注意ください。)				
8. 助成研究に関わる特許等の出願について				
既に出願した件数 (1 件)		今後出願予定の件数 (1 件)		

9. 2016年度研究助成金の支払い明細書

経理担当者名： 鉄鋼 次郎

(単位：千円)

費目	明細			助成金
(1) 機材・器具費	品名	用途		
	〇〇〇計測器	〇〇〇濃度の測定		700
	計			700
今後の活用予定：				
(2) 資材・材料・薬品費	品名	単価	数量	
	△△△	10	20L	200
	□□□	20	5kg	100
	×××	25	4m3	100
	計			400
(3) 文献・資料の収集費	名称	件数		
	計			
(4) 人件費	作業内容	単価	人数×日数	
	〇〇〇試験	5	4×10	200
	計			200
(5) 旅費	出張目的	単価	回数	
	研究打ち合わせ	50	2	100
	〇〇現地調査	50	2	100
	計			200
(6) 経理処理経費				
(7) その他	項目			
	計			
総合計				1,500

*：集計欄の金額は、四捨五入して千円単位で記入して下さい。